

オープン・コム

Open Com

2015 No. 33



開放型病床をもつ開かれた病院として、
地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、
心かよう安心の医療を目指します。

ご挨拶	2
がんリハビリテーションははじめました	4
初期臨床研修を終えるにあたって	5
心臓病教室のご案内	6
トピックス	7～9
「大阪病院 母子医療センター懇談会」開催報告	
第10回 NICU 同窓会開催報告	
ピンクリボンキャンペーン in 大阪病院	
世界糖尿病デー in 大阪病院	
在宅療養支援診療所・訪問看護ステーション研修報告	
「ケア連携の会」開催報告	

かかりつけ医さんこんにちは	10～11
なかえびえ整形外科	
中村クリニック	
奥見診療所	
牧野レディースクリニック	
患者相談室 Open Win/d より	12
当病院の活動内容を掲載している記事 ..	13～17
各種教室・公開講座・院内の公開講座 ..	18～19

ご挨拶

JCHO 大阪病院 院長 山崎 芳郎

長年にわたり関係各位におかれましては、(旧)大阪厚生年金病院に対して多大なご支援・ご鞭撻を賜り有難うございました。当院は昨年4月から公設公営の独立行政法人 地域医療機能推進機構 (Japan Community Healthcare Organization: 略称 JCHO) 大阪病院となり、従前に比しさらに公的な性格を有する病院として新たな道程を歩み始めました。

このたび広報誌オープンコム 2015 年第 33 号を刊行するに際し一言ご挨拶申し上げます。

「民から官」への移行に伴う就業規則・給与体系・倫理規定等の改定や新旧交代人事に伴う一種のカルチャーショックから、職員が一時的な動揺を受けた感触は正直ありました。

しかし、新組織の理念である「我ら全国ネットの JCHO は地域の住民・行政・関係機関と連携し、地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します」も院内外を通じて漸次浸透してきており、今年5月の新病院開院も相まって、全職員が上下一丸となり、従前からの急性期医療(5疾病4事業)拡充と地域連携推進を再び加速させる心意気であると信じ期待しています。

さて、2012 年秋に始まった西側裏門整備に続く旧駐車場解体跡地への65本の免震用杭打ち(写真左)に引き続き、地上13階・地下1階からなる免震構造の新病院建設工事も概ね順調に進捗し(写真右)、本年4月下旬の内覧会・祝賀会とゴールデンウィーク中の引っ越し後、5月7日の開院を予定しています。



その間、短期間ではありますが、一般外来の休診と入院制限ならびに大型医療機器移設に伴う検査・手術の遅れが想定され、患者さんや近隣の医療機関に多大なご迷惑をおかけすると思います。

また、その後、現病院の解体跡地に設立する新駐車場の完成迄に約半年を要しますので、引き続き、患者さんやそのご家族には交通アクセスの不便さを、又、近隣住民の皆様には騒音・粉塵などで多大なご迷惑が想定され、大変申し訳なく思っています。

しかし、新病院の建設なくしては、新設する強度変調放射線治療（IMRT）装置や血管内治療（ハイブリッド）手術室をはじめとする高度医療機器を用いた多角的医療の質向上ならびに、6人部屋の解消やデイルーム増設といった療養環境面の改善は実現致しませんので、あとしばらくの間ご辛抱を願う次第で、何卒皆様のご協力とご理解を賜りたく存じます。

この広報誌には、現時点ならびに将来の各診療科や各部門の具体的な活動内容や特色が掲載されておりますが、ご覧頂いた皆様におかれましては、是非とも忌憚のないご意見を頂ければ幸甚と考えています。

病院の理念・基本方針・患者さんの権利と責務

（1）病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

（2）地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む 24 時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に 24 時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位のがんに対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対しても集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・聴覚・皮膚等の疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 麻痺・痛み等に対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防やがんの早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。
10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

（3）患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 患者さんの病名その他の個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんの診療に支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

看護部の理念

患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、
生活の質を高める看護を実践するとともに、
人を癒し、人を活かす職場づくりに努めます。

JCHO の理念

我ら全国ネットの JCHO は
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め
安心して暮らせる地域づくりに貢献します

JCHO のキャッチフレーズ

安心の地域医療を支える JCHO

がんのリハビリテーションははじめました

リハビリテーション科部長 二宮 晴夫



呼吸器外科部長以下緩和ケアスタッフ、看護部長以下各専門看護師、リハビリテーション科部長以下リハビリテーション科スタッフによる合同カンファレンス風景

当院では2013年9月に厚生労働省指定「がんのリハビリテーション研修」を初めて受講し、施設認定を受けました。以後順調に受講を重ね、現在医師3名（リハビリテーション科部長、内科部長、内科医長）、看護師3名、リハビリテーション科スタッフ（理学療法士6名、作業療法士2名）が認定を受けています。

がんのリハビリテーションは診断を受けた時から開始すべきものですが、当院ではいわゆる周術期（外科的治療を受けた時）からの介入がほとんどであり、以後は化学療法や放射線療法を受けられた患者さんの体力低下、日常生活機能の低下に対応し、できるだけ早期の自宅復帰を目標に行っております。また今後は、いわゆる終末期医療にも積極的に関与し、患者さんのQOL（生活の質）の維持、向上に努めていくよう努力していく所存です。

しかし、がんのリハビリテーションはリハビリテーション科単独で遂行できるものではありません。緩和ケア、NST（栄養補給）、褥瘡ケア、ストーマ（人工肛門）ケアなどの専門多職種間の連携が重要であり、時には精神科医師や心理療法士によるコンサルティングも必要になります。また患者さん自身のみならずご家族に対するケア（生活面、社会面含め）や、指導も考えていかなければなりません。病院全体を横断した組織作りが今後の課題になります。

2015年1月には、厚生労働省指定「企画者研修」を受講し（現在大阪府下の公的な国指定、府指定のがん拠点病院では受講病院がありません。私立病院が1病院のみです。）、今後大阪におけるがんのリハビリテーション指導の拠点として、情報発信していきたいと考えています。

初期臨床研修を終えるにあたって

◆ 平成 27(2015) 年 3 月の初期臨床研修 修了者は以下の通りです。(氏名の 50 音順)

明浦 公彦 岩崎 香 五島 篤史 田淵 友子 中嶋 貴子 中野 仁夫
藤原 政宏 丸谷 典子 尹 純奈 吉井 瑞穂 吉岡 潤哉

◆ 出身大学名 (大学名の 50 音順)

大阪医科大学 大阪市立大学 大阪大学 岡山大学 関西医科大学
神戸大学 佐賀大学 奈良県立医科大学 兵庫医科大学 山口大学



初期臨床研修を終えるにあたって

初期研修 2 年間で最も印象的なものの一つといえば救急外来での診療です。救急端末で搬送連絡を受けて患者を受け入れ、それとは別に walk in の患者の診療も行いました。患者の数が多いときにはかなり大変でしたが、限られた時間の中で問診、診察を行い、検査をして鑑別診断をするのは非常にいい経験になりました。

初めの頃は、患者への問診で見当違いな質問を繰り返したり、どうしたらよいかわからずに患者の前で沈黙してしまったりもしました。その様な時に、背後から上級医の先生が素早く数個の質問をして病態を把握されるのを見て憧れたものです。救急の診療で学んだことは病棟業務での急変時の対応などにも活かすことができたと思います。

来年は後期研修へと進みますが、この病院での初期研修を通して学んだことを活かして、医師としての修練をさらに積んでいきたいと思っています。

指導医の先生方、看護師やその他のコメディカルの方々、そして事務部門の方々、2 年間本当にお世話になりました。皆様のおかげで非常に充実した研修生活を送ることができました。ありがとうございました。

(臨床研修医 明浦 公彦)

心臓病教室のご案内

～診察中に聞けない疑問はありませんか？～

心臓病教室は心臓・血管疾患との付き合い方をみんなで考える公開講座です。13のテーマがあり、「心筋梗塞」や「不整脈」など病気の原因や治療に関するものから、「日常生活での注意」「食事」「服薬」など、病気との付き合い方に関するものなどがあります。

心臓血管外科医による「心臓外科術後の注意」では、手術後の患者様特有の注意点に焦点を当て疑問にお答えします。

「心肺蘇生術」では、実際に人形を使って、AED（自動体外式除細動器）の使用方法を体験できます。

「心肺運動負荷検査」「心臓リハビリ」では、どのように安全で有効な運動を評価し、自己管理するのかを説明します。

講義内容は30分程度で、テレビや書籍・インターネットでは難しい「質問」できる時間を十分にとっています。講師は医師・看護師・心臓リハビリ指導士・栄養士・薬剤師・臨床検査技士など、各分野の専門家です。患者様、ご家族、病気が心配な方など、どなたでも自由にご参加ください。

心臓病教室

- **問い合わせ**／地域医療機構 大阪病院（循環器科外来） TEL 06-6441-5451（代）

（注：2015年3月現在の情報です。新病院移転後は開催場所等が一部変更となります。）

- **開催日**／毎週 月～金曜日のいずれか1回
- **時 間**／13:30～14:30
- **場 所**／1階 リハビリテーション室
- **費 用**／無料
- **方 法**／事前申込不要、直接お越しください。

※医師（循環器内科・心臓血管外科・リハビリテーション科）、看護師、運動指導士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師が担当します。

※詳細は当院ホームページ、院内掲示をご覧ください。

※緊急手術などにより予告なく変更・中止することがあります。



「大阪病院 母子医療センター懇談会」開催報告

2014年7月3日(木)リーガロイヤルホテルにおいて、「大阪病院 母子医療センター懇談会」が開催されました。

周産期の基幹病院を目指し、「母子医療センター」を開設し、多くの先生方にご協力していただき、産科と小児科が一体となって24時間体制で地域周産期医療の向上のため努力しております。

はじめに、山崎 芳郎 院長より JCHO 大阪病院への移行、新病院の建設状況の報告があり、先生方への引きつづきのご協力をお願いいたしました。

次に、筒井 建紀 産婦人科診療部長(母子医療センター長)より現状報告、福田 綾 産科担当部長より「産科オープンシステムについて」、黒柳 裕一 小児科 NICU 担当部長より「2014 新生児集中治療室 NICU 活動報告」を行いました。

高木レディースクリニック 大阪産婦人科医会会長 高木 哲先生による挨拶、乾杯により和やかに懇談会が始まり、その後、淀川キリスト教病院ホスピスこども病院 院長 鍋谷 まこと先生、志村ウイメンズクリニック 志村 研太郎先生、大阪府助産師会会長 大平 純子先生より貴重なお言葉をいただくことができました。

懇談会では、先生方が当院職員と盛んに意見交換を行い、田川 哲三 副院長(母子医療センター長)の挨拶をもって閉会しました。

これからも地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるよう努力していきたいと思っております。

今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(地域連携室 北山 幸子)



高木先生



鍋谷先生



志村先生



大平先生

第 10 回 NICU 同窓会開催報告

場所：JCHO 大阪病院附属看護学校体育館 対象：7 日以上在室された 0～3 才のお子さん及び両親と同胞
参加者人数：退院された 62 人、ご家族(両親と兄弟)116 人 合計：178 人

2014 年 10 月 18 日(土)に第 10 回 NICU 同窓会を開催いたしました。NICU を退院されたお子様とご家族の合計 178 名と周産期医療に携わるスタッフ 29 人が参加しました。この同窓会のコンセプトは、同じ立場の方が共に支え合い、励まし合うというピア・サポートです。お遊戯や茶話会での嬉しそうな笑顔、NICU 部長や病棟保育士によるお悩み相談での真剣な眼差し。ご

家族や子供たちからの「久しぶりに会えて成長した姿を見てもらえて嬉しかった。」「ねえ、ねえ、お母さん今日楽しかったネ!」の喜びの声に次回へのパワーが湧いてきました。写真の輝く笑顔からもわかるように、子どもたち、ご家族、スタッフ、参加したみんなが成長を実感し、たくさんの元気をいただいた 1 日でした。

(NICU 倉谷・北西)



ピンクリボンキャンペーン in JCHO 大阪病院

乳がん啓発活動を表す『ピンクリボンキャンペーン』が、10月に世界中で開催されている事をご存知ですか？

当院でも、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療に向けた活動をブレストチームで行いました。中でも、2014年10月22日(日)に休日の乳がん検診を開催したり、院内で自己検診啓発ティッシュ3000個を配布したりと、初めての試みも大好評でした。

日本人女性の16人に一人が罹患すると言われている乳がん。早期発見できれば完治が期待できるため、乳がん検診が‘もっと当たり前’になる時代へ向けて、ブレストチームはこれからも邁進します。

(8-1 看護師長 乳がん看護認定看護師 今井 康乃)



世界糖尿病デー in JCHO 大阪病院 2014

国連は、インスリン発見者バンティングの誕生日である11月14日を『世界糖尿病デー』と定め、糖尿病の予防、治療、ケアに取り組むように加盟国に呼びかけています。

当院では、2014年11月10日の午後に、1階薬局前の待合いスペースにて、医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、歯科衛生士らから成る糖尿病チームで、手

作りポスターの展示や各種相談をお受けするとともに、血糖値測定、体脂肪率測定、フットケアなどの体験コーナーを設けました。また、この日と11月14日には、運動療法士による実際の体操指導を企画しました。いずれの会場にも、多くの方々にご来場いただき、大変充実したイベントとなりました。

(内科診療部長(糖尿病担当) 宮田 哲)



在宅療養支援診療所・訪問看護ステーション研修報告

2014年10月15日から10月30日、福島区医師会ならびに此花区医師会にご協力いただき12名の看護師の在宅療養支援診療所・訪問看護ステーション研修を実施しました。

「患者・家族の生活背景に合わせた質の高い療養支援と、円滑な地域連携をするために、訪問診療・訪問看護の実際を知る。」を目的とし、1グループ3日間の日程で患者宅への訪問に同行させていただきました。「先生

や看護師さん達が居るから安心してここで暮らしていける。」という患者さんの言葉や笑顔に、暮らしの中の医療を実感することができたようです。

研修での学びと、「患者さんやご家族の希望を大切に支援していきたい。」の思いを看護力にして、今後の在宅療養支援を実践していきたいと思います。

(医療福祉相談室 北 由美)



「ケア連携の会」開催報告

2014年11月10日に第6回ケア連携の会を開催いたしました。今回は、「インスリン自己注射の継続が必要な独居患者の地域連携を考える～一症例を通して～」をテーマとし、29施設44名、当院からも医師をはじめとした多職種の職員が参加し、計79名による事例検討が行われました。糖尿病をもちながら生活する独居高齢の方への支援においては、地域の皆様との連携は不可

欠です。様々な立場からの事例検討では、会場は熱気に溢れ、あっという間の1時間半でした。

今後も「繋げようケアの力！広げようケアの輪！高めようケアの質！」を合言葉として連携を深めていけるよう努力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(看護ケア推進室 中濱 多紀)



かかりつけ医さん

こんにちは

福島区

なかえびえ整形外科

院長 金 柄志

〒553-0001 大阪市福島区海老江5-6-11

TEL 06-6345-3553

FAX 06-6345-3556

ホームページ <http://www.nakaebie.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:45~12:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	—	○	○	—



アクセス

- JR東西線「海老江」駅下車、徒歩5分
- 阪神「野田」駅下車、徒歩5分
- 地下鉄千日前線「野田阪神」駅下車、徒歩5分

診療科目

整形外科/リウマチ科/リハビリテーション科

往診

無

休診日

水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

無



金先生（前列中央）とスタッフの皆さん



2013年4月に、福島区海老江に整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科を標榜して、開院しました。当院は2階のリハビリスペースに、平行棒をはじめ各種リハビリ機器を常備し、物理療法だけでなく、慢性期の運動療法にも対応しております。当院は、近隣の病院との連携を重視し、患者様の状態に応じて検査、入院、手術の紹介を行っております。大阪病院は、日頃から大変お世話になり、感謝しております。

今後も、患者様には優しく、説明は丁寧に心を掛け、地域に信頼される医院となるようスタッフ一同、日々精進してまいります。

福島区

中村クリニック

院長 中村 幸生

〒553-0003 大阪市福島区福島7-6-23 日の出ビル3F(303)

TEL 06-6455-8755

FAX 06-6455-8755

ホームページ <http://nyukio.chicappa.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~12:00	○	○	—	○	○	○	—
18:00~20:00	○	○	—	○	○	—	—

◎土 10:00~12:00



アクセス

- JR大阪環状線「福島」駅下車、すぐ

診療科目

内科/外科/乳腺外科/在宅療養支援診療所

往診

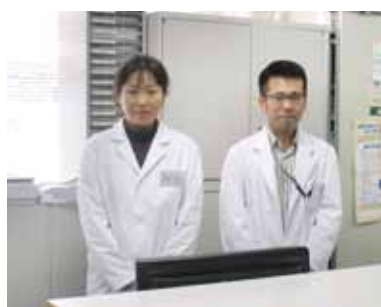
有

休診日

水曜・土曜午後・日曜午後・祝日

駐車場

無



中村先生（右）とスタッフの方



JR環状線福島駅前が開業して4年になります。内科・外科の外来診療の他、在宅診療にも力を入れています。認知症、がん、神経疾患など通院困難な患者様の往診を行っています。訪問看護ステーションや介護事業所の方たちと連携しながら、24時間体制で在宅療養中の患者様をサポートしています。入院が必要になった場合は、いつもJCHO大阪病院でお世話になっています。

より充実した在宅医療が提供できるよう努力していく所存です。

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

此花区

医療法人 医方会 奥見診療所

院長 奥見 敏彦

〒554-0002 大阪市此花区伝法6-3-2-101

TEL 06-6468-9589

FAX 06-6463-7097

ホームページ <http://www.saikoen.jp/okumi.html>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
17:00~20:00	○	○	○	—	○	—



アクセス ■ 阪神なんば線「伝法」駅下車、西へ徒歩6分

診療科目

内科/老年病科/消化器科(肝・胆・膵)/小児科/東洋医学科

往診

有

休診日

木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

有(3台)



奥見先生(左から2人目)とスタッフの皆さん



1972年1月に此花区伝法6丁目の日本住宅公団(現、UR都市機構)で開業し、早くも42年になります。地域のかかりつけ医として日々一生懸命に診療に専念しております。

開業当時に比べ子供さんの数も激変し、老人社会となっております。その為、3年前に有料老人ホームを立ち上げましたが、悪戦苦闘しております。大阪病院にはその都度大変お世話になり、心強く感謝しております。

今後とも地域医療に貢献すべく頑張っております。

此花区

牧野レディースクリニック

院長 牧野 滋

〒554-0014 大阪市此花区四貴島2-4-3

TEL 06-6461-0308

FAX 06-6462-2980

ホームページ

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	—	○	○	—	○
16:00~19:00	○	△	○	—	△	—

△火・水 夜診時のみ 17:00~



アクセス ■ 阪神なんば線「千鳥橋」駅下車、徒歩5分

診療科目

産婦人科/内科

往診

無

休診日

火曜午前・木曜午後・金曜午前・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

有



牧野先生(中央)とスタッフの皆さん



1924(大正13)年開業。地域に密着したクリニックです。

産科診療では検査・妊婦検診を行い、分娩は希望される病院を紹介させていただいています。婦人科診療では子宮がん検診・更年期障害の相談など随時行っております。

初めての方も予約せず、受診していただけます。

2014年4月から11月までの投書箱「みなさまの声」に寄せられたご意見は169件、患者相談窓口で直接対応したご意見等は104件、合計273件でした。その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q 産婦人科外来の近くのトイレについて、洋式が一ヶ所しかないので、増設を希望いたします。外来受診時、必ず尿検査がありますが、和式は特に妊婦の場合辛いのでお願いいたします。

A ご迷惑をおかけしておりますが、新病院竣工が近いため、現病院での増設は出来ない状況にあります。ご不便をおかけしますが、暫くの間、身障者用トイレのご使用をお願い申し上げます。なお、新病院は、すべて洋式トイレとなっております。

Q 診断書の発行に約2週間を要するというのは、時間がかかり過ぎである。保険請求等に対する利便性を考えて、退院時に交付する位でないといけないのではないか。

A 診断書等の発行に要する期間につきましては、担当の医師が数件の文書作成を受け持っている場合があり、それぞれの件で発行を要する期間に長短が生じているのが現状であります。発行にかかる事務の時間短縮に努力して、出来るだけ患者様のご要望にお応えできるようにいたします。

Q 産婦人科で期間限定の4Dエコーを実施してもらいましたが、画像がとてもきれいでびっくりしました。まだ、妊娠週数も浅いのに、子供達がハッキリ見えて嬉しかったです。ぜひ新病院で導入してもらいたいです。

A 現在のところ3D、4D対応の新しい産科超音波検査装置の購入について、購入を検討している段階です。貴重なご意見、大変有難うございました。



《重要なお知らせ》**病院敷地内 全面禁煙** 当院は病院敷地内全面禁煙です。

ご覧いただけましたか？

「テレビで、当院が放映されました」



出演者（所属科）	放映日時	テレビ局「番組タイトル」	内 容
スポーツ医学科部長 島田 幸造	2014.8.26（火） 夜11時台	毎日放送「NEWS23」	“（特集）高校野球ピッチャー投げすぎ問題 桑田氏が斬る”
耳鼻咽喉科部長 望月 隆一	2014.10.15（水） 朝7時台	読売テレビ 「朝生ワイド す・またん！」	“まるトク ZIP! 「アンチエイジングへの道10～声～」”（大阪ボイスセンター）

下記記事に当院が掲載されました

雑誌

雑誌名	掲載年	ページ	内 容
日経メディカル	2015年1月号（566号）	P.54	特集辞めない女医のつくり方（外科医長 河野 恵美子）

新聞記事（2013年治療実績）

新聞名	掲載年月日	掲載タイトル	内 容
読売新聞	2014.8.3（日）	病院の実力「肺がん」	手術患者数（31人）、手術執刀医師数（常勤1人）、放射線治療担当医師数（常勤2人）、化学療法担当医師数（4人）
読売新聞	2014.9.7（日）	病院の実力「乳がん」	全手術数（126件）、温存率（73%）
読売新聞	2014.10.5（日）	病院の実力「肝臓がん」	原発性肝がん切除患者数（8人）、転移性肝がん切除患者数（7人）、ラジオ波焼灼術を受けた患者数（原発）（49人）、肝動脈塞栓療法を受けた患者数（95人）
読売新聞	2014.11.2（日）	病院の実力「胃がん」	全手術数（53件）、全手術のうち腹腔鏡手術数（12件）、粘膜下層剥離術（155件）、術後の外来患者への栄養指導（あり）
読売新聞	2014.12.7（日）	病院の実力「大腸がん」	全手術数（93件）、腹腔鏡手術（40件）、早期がんに対する腹腔鏡手術（18件）
読売新聞	2015.1.11（日）	病院の実力「心臓リハビリ」（※2013,14年治療実績）	リハビリ延べ患者数（月あたり）（9人）、心肺運動負荷試験延べ患者数（月あたり）（36人）、専用訓練室・1週間の実施日数（3日）、外来リハビリ・1週間の実施日数（3日）
読売新聞	2015.2.1（日）	病院の実力「前立腺がん」	全摘手術合計（4件）、外照射治療（3件）

患者さんへのお願い

当院での 整形外科初診・再診 の取り扱いについて



かかりつけ医の私が予約
をお取りいたします。

地域連携室

TEL (06) 6441-5451 (代)
AM 9:00 ~ PM 5:00
(土日祝日を除く)

当院では、**整形外科（リウマチ科・脊椎外科・スポーツ医学科を含む）の初診は、他の医療機関からの紹介患者さん限定**とさせていただいております。過去に通院していた患者様も治療が終了している場合、あくまでも初診となりますので、他の医療機関からの紹介・予約が必要となります。受診ご希望の際は、先ずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診察室や診療医師の手配ができませんのでご了承ください。

再診も、初診と同様にすべて予約制です。

各種教室

* 下記各教室・講座の掲載内容は2015年3月現在の情報です。

* 2015年5月新病院移設後は内容が一部変更になります。開催予定等各詳細につきましては、決まり次第、病院ホームページ、院内に広報いたします。

マタニティクラス

問 申 地域医療機構 大阪病院（産婦人科病棟）
☎ 06-6441-5451（代）

- 開催日／毎月 第1、2、3水曜日、第4金曜日、月1回日曜日（不定）
- 時 間／9:30～11:30、13:30～15:30（第4金曜日のみ13:30～15:00）
- 場 所／当院2階 第1会議室
- 予約制

腎臓病教室

問 地域医療機構 大阪病院（血液浄化センター）
☎ 06-6441-5451（代）

- 時 間／13:30～14:30
 - 場 所／当院2階 第1会議室
 - 費 用／無料
 - 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- * 5月以降の日時、場所は未定です。下記の内容に若干変更があるかもしれません。
* 5月以降の院内掲示をご参照ください。

開催予定月	テーマ	対 象	担 当
5月	慢性腎不全の食事療法	主に慢性腎不全患者さん	栄養士
6月	腎機能が低下していると言われたら…慢性腎不全との付き合い方	主に慢性腎不全患者さん（Cr2mg/dl以上）	医師
7月	腎臓病と福祉制度（社会保障制度）	保存期、透析導入期患者さん	ソーシャルワーカー
8月はお休み、開催なしです。			

レッツ！糖尿病教室

問 地域医療機構 大阪病院 内科外来
☎ 06-6441-5451（代）

- 時 間／14:00～16:00（受付は13:45から）
 - 場 所／当院2階 第1会議室
 - 費 用／無 料
 - 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- * 5月はお休み：開催なしです。

開催日	テーマ	担 当
4月2日	肥満と糖尿病／食事療法を見直そう／口腔内の健康と咀嚼の効能	医師／管理栄養士／歯科衛生士

心臓病教室

問 地域医療機構 大阪病院（循環器科外来）
☎ 06-6441-5451（代）

どなたでも自由にご参加いただけます。心臓病との付き合い方を考える勉強会です。狭心症や心筋梗塞、心不全、心血管術後など、病気そのものについてだけでなく、薬や食事、運動についての理解を深め、自分で健康管理できることを目指してもらいます。

- 開催日／毎週 月～金曜日のいずれか1回
- 時 間／13:30～14:30
- 場 所／当院1階 リハビリテーション室
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

* 医師（循環器内科・心臓血管外科・リハビリテーション科）、看護師、運動指導士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師が担当します。
* 詳細は当院ホームページ、院内掲示をご覧ください。 * 緊急手術などにより予告なく変更・中止することがあります。

禁煙教室

問 地域医療機構 大阪病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（代）

- 開催日／毎月第1、3水曜日
 - 時 間／13:00～14:00
 - 場 所／附属看護専門学校1階 会議室
 - 費 用／無 料
 - 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- * 右記アクセス図をご参照ください。



* 敷地内新病院建替工事のため、車両及び歩行者の出入口が変更されています。



* 下記各教室・講座の掲載内容は2015年3月現在の情報です。

* 2015年5月新病院移設後は内容が一部変更になります。開催予定等各詳細につきましては、決まり次第、病院ホームページ、院内に広報いたします。

消化器病懇話会

問 地域医療機構 大阪病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線2274）

● 日 程／各開催日、テーマなどに詳細については確定次第、院内に掲示いたします。

※6月以降の開催予定は未定です。

● 費 用／無 料

● 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 地域医療機構 大阪病院（地域連携室）
☎ 06-6441-5463

名 称	日 時		場 所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日	17:30～19:00	当院2階 第2会議室
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日	19:00～21:00	当院2階 第1会議室
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	17:00～18:30	当院4階 カンファレンス室
臨床病理検討会（CPC）	毎月最終水曜日	17:30～18:30	看護専門学校視聴覚室※

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。

恐縮ですが、開催直前までの1週間以内に地域連携室（TEL 06-6441-5463）にご確認ください。

※看護専門学校は、左記アクセス図をご参照ください。

公開講演会

問 地域医療機構 大阪病院（看護部：野村）
☎ 06-6441-5451（代）

● 場 所／附属看護専門学校視聴覚室 ※看護専門学校は、左記アクセス図をご参照ください。

● 費 用／無 料

● 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

● 対 象／看護師、その他医療従事者

※今後の開催予定は確定次第、当院ホームページに掲載します。

新人看護師コアレクチャー（前期の予定）

● フィジカル アセスメント ● 心臓の解剖整理と心電図 ● 麻酔 ● 血液透析

● 糖尿病と血糖コントロール ● 水・電解質バランスと血液ガスデータの見方 他

● 4、5月に計8回（時間はホームページに記載します）

● 場 所／附属看護専門学校視聴覚室 ※看護専門学校は、左記アクセス図をご参照ください。

新人看護職員研修 受講者募集

研修参加を希望される方は当院ホームページ「新人看護職員研修プログラム」をご覧の上、ご連絡ください。

